

# 第41期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



Mobile Space Frontier®

 **三協フロンティア株式会社**

**JASDAQ**  
証券コード F9639

## 基本理念

### 目的（存在理由）

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第41期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）  
中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年後半以降の世界経済の急速な変化が下げ止  
まる傾向を示す中、各国の政策協調により最悪期は脱  
しつつあるものの、未だ先行きの不透明感は拭いきれ  
ておらず、これまでの米国を軸とした世界経済秩序は大  
きな転機を迎えています。ドルの基軸体制も脆弱化し、  
米国一極集中から、多極化の時代へと向かいつつあり  
ます。中国、インドなどの新興国が次世代リーダーとして  
存在感を高める一方、日本経済は、設備過剰感や企業  
収益の悪化を背景に、未だ厳しい局面にたっております。

そのような厳しい経済情勢の中、先の政権交代と、日  
本社会は変化のときを迎え、これまでの固定概念から脱  
却し、迅速かつ柔軟な変化への対応が企業においても  
求められていると考えます。

必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提  
供する — 当社のユニットハウスのレンタルシステムは、  
変化し続ける市場への対応であり、今の時代に求めら  
れる商機のあるビジネスモデルであると確信しております。

今後も、創業当時から受け継がれてきたフロンテアス  
ピリッツ（開拓の精神）を原点に、困難に直面したときこ  
そが成長のチャンスであると捉え、鋭意努力を重ねてま  
いります。

### 当事業年度（平成21年4月1日～ 平成21年9月30日）の業績について

ユニットハウス事業部、立体駐車装置事業部の各事  
業部について、ご説明させていただきます。

ユニットハウス事業部におきましては、大手ゼネコンを  
はじめとする建設着工高減少の影響を受け、建設現場  
向けユニットハウスのレンタル受注の落ち込みは予想  
以上に厳しいものとなりました。また、ユニットハウスの  
販売につきましても、景気後退による、中小企業向け事  
務所用ユニットハウスの販売不振の中、展示販売場  
での販売強化に努めましたが、総じて厳しい状況で推移  
しました。当第2四半期累計期間のユニットハウス事業

の売上高は7,016百万円（前年同期比11.5%減）とな  
りました。

立体駐車装置事業部におきましては、当第2四半期  
累計期間の売上高は238百万円（前年同期比0.5%増）  
となりました。

上記の結果、当第2四半期累計期間売上高は  
7,225百万円（前年同期比11.2%減）となりました。また、  
利益面におきましては、全社的に諸経費の削減に取り  
組みましたが、営業利益231百万円（前年同期比  
61.2%減）、経常利益200百万円（前年同期比64.3%  
減）、四半期純利益87百万円（前年同期比71.8%減）  
となりました。

依然、建設市場全体の先行きは厳しいものとなっ  
ておりますが、主力事業である仮設ユニットハウスのレン  
タルシェア拡大に引き続き注力するとともに、新たな需要  
先の開拓に取り組み、ユニットハウスの市場拡大に努  
めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご  
指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成21年12月

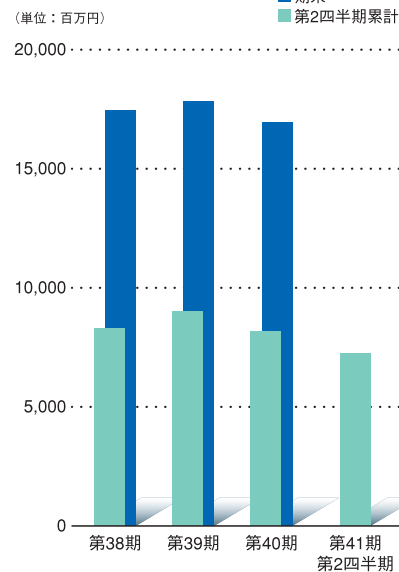
代表取締役社長 長妻貴嗣

## 業績ハイライト

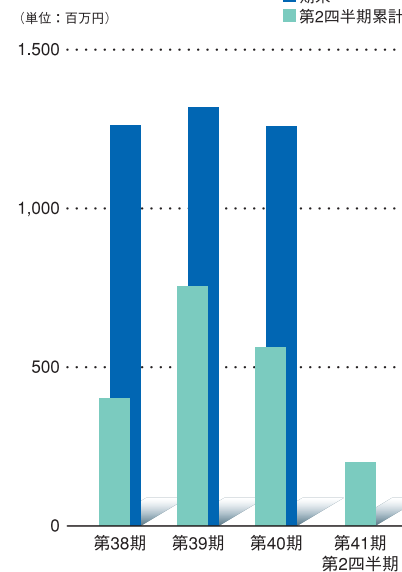
期別 区分	第38期 (平成19年3月期)	第39期 (平成20年3月期)	第40期第2四半期 (平成21年3月期)	第40期 (平成21年3月期)	第41期第2四半期 (平成22年3月期)
売上高(百万円)	17,446	17,840	8,167	16,926	7,255
経常利益(百万円)	1,260	1,317	563	1,259	200
当期純利益(百万円)	668	547	309	674	87
1株当たり当期純利益(円)	29.90	24.52	13.85	30.27	3.95
総資産(百万円)	28,123	28,260	27,110	26,795	25,920
純資産(百万円)	16,004	16,266	16,437	16,611	16,572
1株当たり純資産(円)	716.25	727.61	735.04	751.55	749.57

(注) 1) 第38期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。

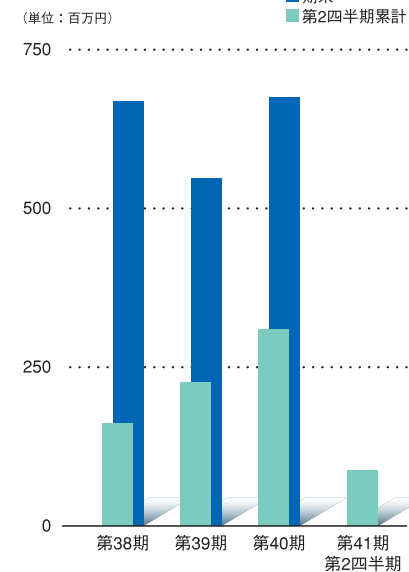
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 当期純利益の推移



免責条項

本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 各事業の概況

### ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。  
イベントブースから仮設住宅まで  
お客様のニーズにあわせた製品を提供します。

大手ゼネコンをはじめとする建設着工高減少の影響を受け、建設現場向けユニットハウスのレンタル受注の落ち込みは予想以上に厳しいものとなりました。その結果、第2四半期累計期間のレンタル料収入は4,783百万円(前年同期比14.3%減)と総じて厳しい結果となりました。

今後とも、主力の建設現場向けレンタルのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客への営業を強化していきます。



### ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など  
全国のさまざまなシーンで  
ユニットハウスが活躍しています。

景気減速による設備投資抑制が影響し、倉庫・休憩所・詰所向けのMini houseの販売が好調であったものの、主力製品であるQuoを中心とした店舗・事務所向けの販売が低調であったことから、販売収入は1,907百万円(前年同期比10.2%減)となりました。

今後とも市場ニーズに合わせた製品の開発に取り組むとともに、主力製品であるQuoの販売強化に努めていきます。



## Topic 1 今期、新たに6つの店舗をオープン

当社は、ユニットハウスをはじめとする当社製品を販売する展示場と、トランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを全国各地に展開しています。今期は、神栖（茨城県）とU-SPACEを併設した八千代（千葉県）、朝霞（埼玉県）の3つの出張所と豊四季店（千葉県）、三郷天神店（埼玉県）、千葉おゆみ野店の3つのU-SPACEをオープンしました。新店舗のなかから、八千代出張所とU-SPACE三郷天神店をご紹介します。

### 八千代出張所

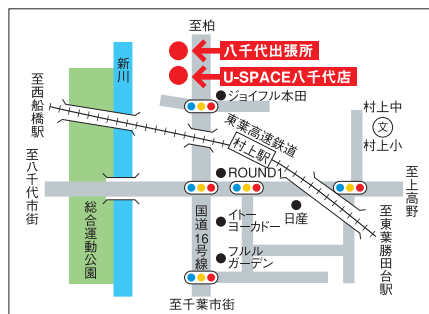
2009年7月にオープンした八千代出張所では、レンタル向けユニットハウスの主力製品であるCT-Jを展示しています。

これまで、レンタル向けユニットハウス製品の多くは、主に建設現場などで使用されることから、組み立てや分解のしやすさといった機能性を重視していました。今回、八千代出張所に展示したCT-Jでは、機能性を維持したまま、全面ガラスや親子ドアなどデザイン性を追求したオプションを採用。シンプルで開放感のある空間を実現し、デザイン性を求めるお客様の声に応えています。

八千代出張所には屋外型トランクルームも併設しており、ユニットハウスからトランクルームまで幅広い製品をご案内しています。



機能性とデザイン性を両立させたCT-J



東葉高速鉄道村上駅から徒歩10分  
〈お問い合わせ〉047-487-8051

### 店舗スタッフから一言

八千代市の七百餘所神社では、1月の祈年祭と10月の例祭の年2回、お祭りが開催され、出雲系の神楽の流れを継いだ舞いが披露されます。来年の1月、祈年祭にお越しの際には、当店にもお立ち寄りください。

所長の津崎（中央）とスタッフ  
（左：浪川、右：菅原）

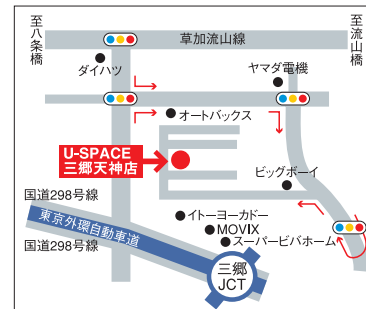


### U-SPACE三郷天神店

2009年7月にオープンしたU-SPACE三郷天神店は個人のお客様を中心に多くの方にご契約いただいています。

大型ショッピングセンターに近い当店は、公園や街路樹などの緑が多くあり、清潔感と開放感にあふれた店舗が好評をいただいています。

今後も快適にご利用いただける店舗づくりに努めていきます。



〈お問い合わせ〉0120-471-383



店舗外観

## Topic 2 カラーバリエーションが豊富な EARTH COLORS、新登場。

アースカラーは、「街並みにあった色合いがほしい」というお客様の声に応えた、豊富なカラーバリエーションを揃えた新製品です。「地球の色は、美しい。」をコンセプトに、ストーングレーは水に打たれて光る御影石、ベーシックキャメルは灼熱の大地

を思わせる砂漠、スウィートピンクは可憐で美しい花々をモチーフにしています。その他にもフォレストグリーン、ミステリーブルー、ウッドブラウンなど6色のカラーバリエーションを用意しました。

今後ともお客様の声に応える製品開発を心がけていきます。



自然の風景をモチーフにしたアースカラー（左からスウィートピンク、ベーシックキャメル、フォレストグリーン、ミステリーブルー、ストーングレー、ウッドブラウン）

# 財務諸表

## 四半期貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

資産	第41期第2四半期 (平成21年9月30日)	第40期末 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,650,225	6,351,550
現金及び預金	1,022,656	771,755
受取手形	582,820	683,068
営業未収入金	2,062,704	2,483,390
売掛金	577,018	1,127,455
棚卸資産	948,155	849,826
繰延税金資産	69,051	96,857
その他	433,417	440,996
貸倒引当金	△ 45,600	△ 101,800
固定資産	20,269,933	20,443,780
有形固定資産	19,110,964	19,277,077
Point 1 レンタル資産	9,311,110	10,045,227
建物	1,084,995	1,127,825
Point 2 土地	8,282,970	7,702,247
その他	431,888	401,777
無形固定資産	108,470	99,793
投資その他の資産	1,050,499	1,066,909
繰延税金資産	259,518	256,807
その他	803,880	827,102
貸倒引当金	△ 12,900	△ 17,000
資産合計	25,920,159	26,795,331

### Point 1 レンタル資産

レンタル用ユニットハウスへの新規投資を抑制した結果、レンタル資産は9,311百万円(前期末比7.3%減)となりました。

## 負債の部

(単位:千円)

負債	第41期第2四半期 (平成21年9月30日)	第40期末 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,686,336	6,809,001
支払手形	156,073	159,790
買掛金	923,375	1,377,716
短期借入金	4,788,000	2,988,000
未払費用	1,333,650	1,405,476
未払法人税等	89,600	231,000
賞与引当金	114,900	121,200
その他	280,736	525,818
固定負債	1,661,768	3,374,728
長期借入金	1,224,000	2,968,000
退職給付引当金	277,960	251,464
役員退職慰労引当金	129,970	134,020
その他	29,837	21,243
負債合計	9,348,104	10,183,730
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,548,388	16,599,125
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,698,150	2,698,150
利益剰余金	12,618,056	12,668,792
自己株式	△ 313,267	△ 313,267
評価・換算差額等	△ 717	△ 7,847
その他有価証券評価差額金	△ 717	△ 7,847
新株予約権	24,383	20,323
純資産合計	16,572,054	16,611,601
負債・純資産合計	25,920,159	26,795,331

### Point 2 土地

京都物流サービスセンターの能力増強を目的とし、センター用地を取得したことなどから、前期末より580百万円増加しました。

## 四半期損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第41期第2四半期 (累計期間) (自平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	第40期第2四半期 (累計期間) (自平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	7,255,878	8,167,908
売上原価	4,417,210	4,855,789
売上総利益	2,838,667	3,312,118
Point 3 販売費及び一般管理費	2,607,213	2,715,904
営業利益	231,454	596,213
営業外収益	34,322	39,813
営業外費用	64,938	72,920
経常利益	200,838	563,106
特別利益	17,501	28,669
特別損失	30,546	33,192
税引前四半期純利益	187,792	558,583
法人税等	100,553	249,157
四半期純利益	87,238	309,425

### Point 3 販売費及び一般管理費

諸経費の削減と事務業務の効率化を図った結果、前年同期比4.0%減の2,607百万円となりました。

## 株主資本等変動計算書

(自平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				資本剰余金 合計			利益剰余金 合計	その他有価証券 評価差額金			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金								
平成21年3月31日 残高	1,545,450	2,698,150	2,698,150	177,680	10,925	11,644,000	836,186	12,668,792	△313,267	16,599,125	△7,847	△7,847	20,323	16,611,601	
事業年度中の変動額															
固定資産圧縮積立金の取崩し					△1,219		1,219								
別途積立金の積立て						400,000	△400,000								
剰余金の配当							△137,975	△137,975		△137,975				△137,975	
剰余金の配当(中間配当)															
四半期純利益							87,238	87,238		87,238				87,238	
自己株式の取得															
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)											7,129	7,129	4,060	11,190	
事業年度中の変動額合計					△1,219	400,000	△449,517	△50,736		△50,736	7,129	7,129	4,060	△39,546	
平成21年9月30日 残高	1,545,450	2,698,150	2,698,150	177,680	9,706	12,044,000	386,669	12,618,056	△313,267	16,548,388	△717	△717	24,383	16,572,054	



## 企業の概要 (平成21年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小山 栄英
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	常勤監査役	石原 幸夫
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-15)第18154号  
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-0704-1483号

## 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,037名 (平成21年3月末比16名減)

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,288	14.08
長妻 和男	2,148	9.20
ドイチェウエートパピアサービス バンク エージーリドレスナー リエクイティーズ	365	1.56
三協フロンテア従業員持株会	332	1.43
個人株主	230	0.98
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70

※当社は自己株式を1,280千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

### (ご注意)

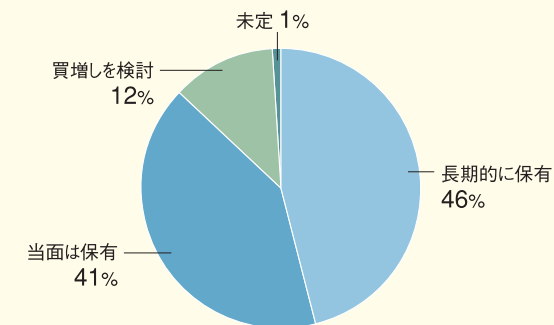
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※上記のほか、詳細は当社ホームページ内の「IR情報」に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

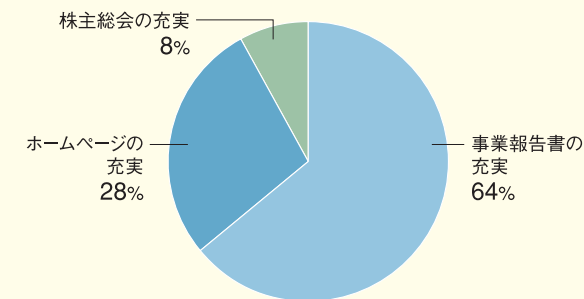
## アンケート結果のご報告

「第40期年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。180名を超える株主の皆様からご回答をいただきました。ありがとうございました。

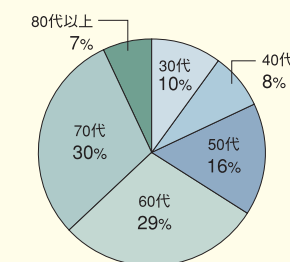
### Q1 今後の当社の株式保有についてお聞かせください。



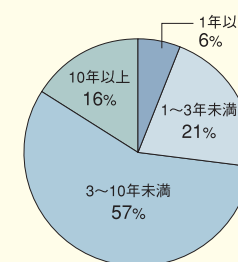
### Q2 株主様への情報提供について、今後期待される内容を一つお選びください。



### ご回答者の属性



### 保有期間





1969年、千葉県柏市に設立された当社は、40年目を迎えた現在も創業の地である柏市に本社を構えています。本社には管理部門や販売部門のほか、研究開発部門が所属しており、製品の開発や性能試験のための設備を備えた実験工場を併設しています。2005年につくばエクスプレス線が開通し、最寄り駅となる「柏の葉キャンパス」駅、「柏たなか」駅が開業しました。これにより駅周辺には大型商業施設やマンションが建つなど、すっかり様変わりしてきましたが、駅から少し離れた本社周辺には今も多くの木々が残り、毎年春には満開の桜のもと、入社式が行われます。



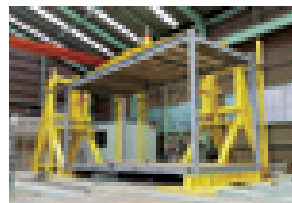
創業当時の本社



本社入口の桜並木

### オリジナルの性能試験装置を使って、安全な製品開発に取り組んでいます。

当社では、オリジナルの性能試験装置を使って、ユニットハウスの性能を評価・検証しています。性能試験装置開発のきっかけは、自然災害が多発した2004年に遡ります。同年、本社内で、性能試験装置の開発プロジェクトが立ち上がり、翌年5月に2機の性能試験装置が稼働を開始。「強度性能試験装置」は、実物大のユニットハウスを使い、耐久性を検証。一方、「水密性能試験装置」では、暴風雨などを想定した実証試験を実施しています。これらの性能試験装置を使って、より安全な製品開発に取り組んでいます。



強度性能試験装置